

「卓越した技能者の表彰」制度

趣旨

卓越した技能者の表彰制度は、技能の世界で活躍する職人や技能の世界を志す若者に目標を示し、技能者の地位と技能水準の向上、優れた技能の継承などを目的としている。

被表彰者の決定

被表彰者は、次の全ての要件を充たす者であって、都道府県知事、全国的な事業主団体等、全国的な障害者団体、個人のいずれかの推薦を受けた者のうちから、厚生労働大臣が技能者表彰審査委員の意見に基づき決定する。

①きわめてすぐれた技能を有する者、②現に表彰に係る技能を要する職業に従事している者、③技能を通じて労働者の福祉の増進及び産業の発展に寄与した者、④他の技能者の模範と認められる者

表彰

表彰は、厚生労働大臣が毎年1回、被表彰者に表彰状、卓越技能章（盾及び徽章）並びに褒賞金（10万円）を授与している。

令和7年度の受賞者は、金属熱処理工、NC旋盤工、アーク溶接工、生産設備保全工等の工業系技術職から46名、染物・仕上工、婦人・子供服仕立職、建築大工、かわらふき工、造園師、土石製品製造工、木製家具・建具製造工、日本料理調理人等の生業系技能職から96名、合計142名が受賞した。

昭和42年に第1回の表彰が行われて以来、令和7年度の第59回の表彰までに7,376名が表彰されている。

令和7年度の代表的な被表彰者



崎田 宏二氏
フライス盤工
株式会社アイシン

オートマチックトランスマッisionの試作品加工に携わり、フライス旋盤の知識・技能に卓越している。

治具製作の内製立を引き上げ、生産性向上に寄与した。

技能グランプリでは、初挑戦で第1位、内閣総理大臣賞を獲得した。



錢丸 肇次氏
左官
株式会社イスルギ



左官業に従事し、伝統的左官技術を現代の建築ニーズに融合させ、数々の作品を手掛けている。仕上がりの美しさや迅速性は、高く評価されている。

技能五輪国際大会での優勝経験もあり、付属技能専門校で後進の指導育成に貢献している。



三津橋 幸勇氏
歯科技工士
和田精密歯研株式会社

前装冠製作において顔貌に調和する形態調整や色調再現に卓越した技術を有する。

聴覚障害を抱えながらも、筆談や視覚的なコミュニケーションを工夫して、患者ごとの細かな要望に応える。